※令和４年度以降入学生用

学校番号	T1202

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	２～４年次
使用教科書	『MOUSA１』　（教育芸術社）						
副教材等	特になし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・楽器を奏でること、歌をうたうこと、音楽を聴くことを通して、音楽の色々な面を体験します。
・楽譜の持っている意味を読み取り、それぞれの音楽の持っている良さを味わって演奏すること、そして皆さんが音楽を少しでも深く知ることが出来れば、と考えています。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広くかかわる資質・能力を次のとおり育成する。

１　曲想と音楽の構造や文化的･歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
２　自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや､音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
３　主体的･協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

月	題材名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4月～5月	どこかで耳にした親しみのある曲を歌う	[歌うこと] ・ありがとう ・見げてごらん夜の星を	a:表現したいことが歌の形として表れている。 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 b:音色、リズム、速度、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	・ワークシート	・実技テスト ・相互評価シート	・観察 ・演奏の聴取

※令和４年度以降入学生用

5月～6月	リズムアンサンブル	[器楽演奏] ・クラッピングとボディーパーカッション	a:曲想と手拍子や足踏みを打つ音色や奏法との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 b:リズムの特徴や変化を感じ、その表現にはどのような身体的工夫が必要かを感じている。また、個々人の演奏、そして他者との演奏、それらの違いを踏まえながら演奏出来ている。 c:曲想と手拍子や足踏みの音色や奏法との関わり、及び他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	・ワークシート	・実技テスト ・相互評価シート	・観察 ・演奏の聴取 ・自己評価シート
7月～9月	音楽とダンス	[鑑賞] ・ボレロ(ラヴェル)＋バレエ ・春の祭典(ストラヴィンスキー)＋バレエ	a:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、ほかの芸術との関わりについて理解している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:曲想や表現上の効果と音楽の構造とのの関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、ほかの芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・ワークシート ・小テスト	・実技テスト ・相互評価シート	・観察 ・演奏の聴取 ・相互評価シート

※令和４年度以降入学生用

10月～11月	より親しみやすい曲を歌う	［歌うこと］ ・少年時代 ・翼をください ・Oh Happy Day	a：創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な，曲にふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付け，歌唱で表している。 b：音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c：音楽の特徴と文化的背景，他の芸術との関わりに関心をもち，主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・ワークシート	・実技テスト ・相互評価シート	・観察 ・演奏の聴取
11月～1月	楽器で演奏する	［器楽演奏］ ・見げてごらん夜の星を （今回はグロッケンを用いて） ・木星 ・さくら	a：曲想と音楽の構造や歌詞，文化的背景との関わりについて理解している。 b：音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c：曲想と音楽の構造や歌詞，文化的背景との関わりに関心をもち，主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	・ワークシート	・実技テスト ・相互評価シート	・観察 ・演奏の聴取 ・相互評価シート

※令和４年度以降入学生用

	「コード進行」をもとにメロディーをつくろう	［創作］ ・コード・ネーム	a：創意工夫を生かした創作表現をするために必要な，反復，変化，対照などの手法を活用して音楽をつくる技能，及び旋律をつくったり，つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能を身に付け，創作で表している。 b：音色，リズム，旋律，テクスチュア，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 c：音を連ねたり重ねたりしたときの響き，音型などの特徴及び構成上の特徴に関心をもち，主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	・ワークシート ・小テスト	・実技テスト ・相互評価シート	・観察 ・演奏の聴取 ・相互評価シート ・自己評価シート
1月～2月	観て、聴いて愉しむ音楽	［鑑賞］ ・オペラ～ミュージカル （時代の流れに沿って代表曲を鑑賞し、それらの特徴を捉える）	a：音楽の特徴と文化的・歴史的背景，他の芸術との関わりについて理解している。 b：音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠について考え，音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c：音楽の特徴と文化的・歴史的背景，他の芸術との関わりに関心をもち，主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・ワークシート	・実技テスト ・相互評価シート	・観察 ・演奏の聴取 ・相互評価シート

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度